広報 あげまつ



10
2026/OCTOBER
749号





町の情報は
こちらから
上松町公式サイト
http://www.town.agematsu.nagano.jp/

第５８回上松中学校総合発表会

第５８回上松中学校総合発表会が、10月2日（金）、3日（土）の２日間、開催されました。

今回の総合発表会のテーマは「Plus+」で、生徒たちは日々の生徒会活動や今回の総合発表会を通して、学校にとって良いことをさらに増やしていきたいという思いを込め、準備や練習を重ね、その成果を発表することができました。

教科発表や音楽会等では、生徒だけでなく先生たちも一緒になって全力で取りくみ、学校の全員が絆を深めた総合発表会となりました。

令和8年10月1日現在

世帯 1,935戸（－ 3）
男 1,822人（－ 7）
女 1,918人（－ 5）
計 3,740人（－12）

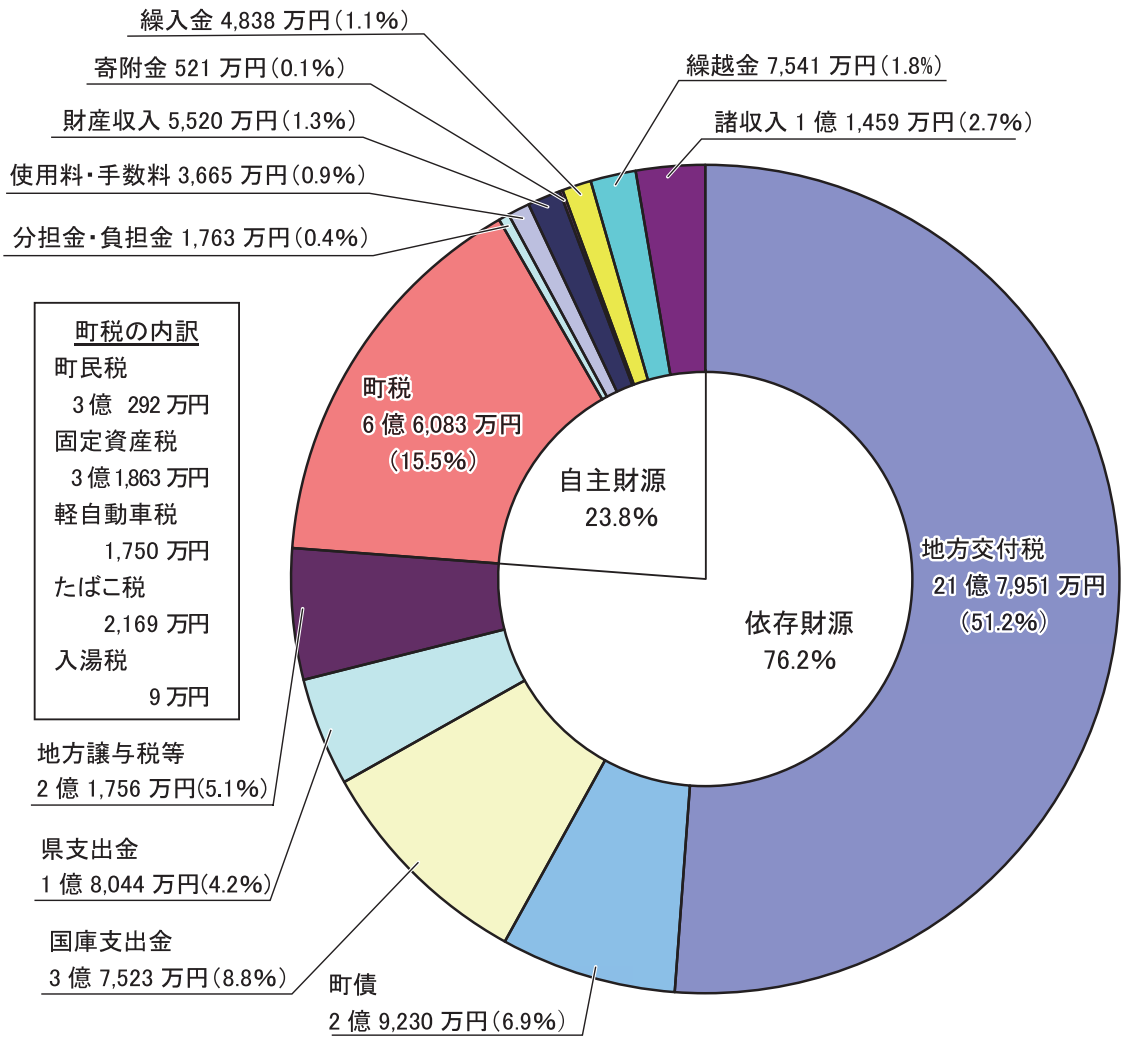

美林ちゃん


太郎ちゃん

令和8年10月22日発行　編集・発行／上松町役場総務課　印刷／山田印刷株式会社

令和七年度　上松町の決算状況

歳入総額　42 億 5,894 万円



令和７年度の各会計の決算が９月定例議会で審議され、一般会計及び特別会計の四会計すべてが認定されました。
一般会計及び特別会計の決算状況についてお知らせします。

一般会計の歳入総額は４２億５，８９４万円、歳出総額は４１億９，１６３万円で、歳入から歳出を差し引いた額（形式収支）は６，７３１万円となり、そこから翌年度へ繰り越すべき財源１，２９６万円を差し引いた実質収支額は５，４３５万円の黒字となりました。

前年対比では、歳入が１．８％の増、歳出は２．８％の増となりました。

歳入では、地方交付税が２．２％の増、町税が６．３％の増、町債が２８．９％の減、歳入の不足を補う基金取崩による繰入金は４１．５％の減となりました。

歳出は、総務費が４．０％増の９億２，６０７万円、民生費が９．３％増の９億２，９６３万円、衛生費が５．６％減の２億７，２４８万円、農林水産業費が１９．８％増の１億６，２１１万円、商工費が２２．１％増の２億２，０９８千円、土木費が２．３％増の５億５，９０２万円、消防費が１５．０％減の１億５，５９６万円、教育費が０．２％減の３億６，８５５万円、公債費が６．５％減の５億３，９７５万円となりました。

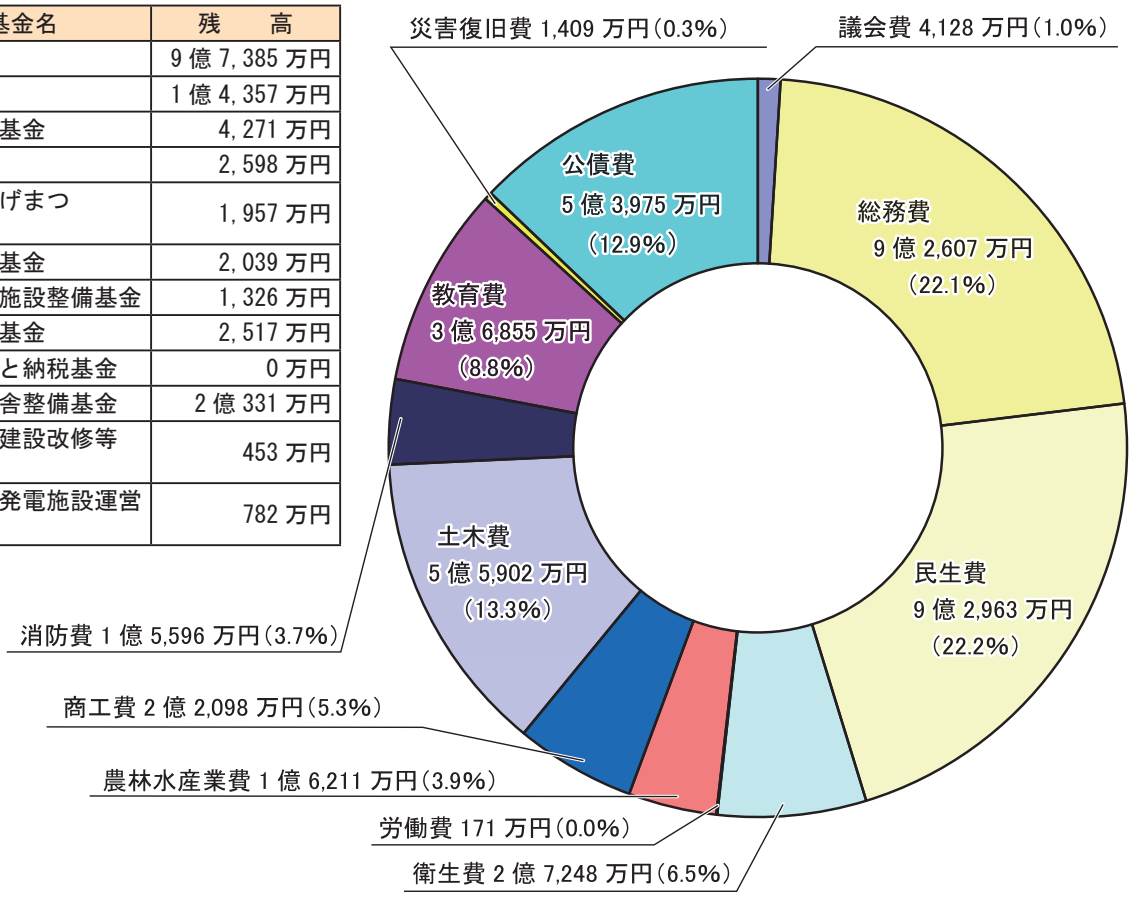
一般会計と特別会計三会計を合わせた四会計の決算は、歳入総額４７億３，３５１万円、歳出総額４６億４，７０８万円となりました。

主な事業につきましては次ページ以降のとおりとなります。

歳出総額　41 億 9,163 万円

積立基金の年度末残高（一般会計分）

積立基金名	残　　高
財政調整基金	9 億 7, 385 万円
減債基金	1 億 4, 357 万円
地域福祉振興基金	4, 271 万円
教育施設基金	2, 598 万円
ひのきの里あげまつ ふるさと基金	1, 957 万円
赤沢施設整備基金	2, 039 万円
ねざめホテル施設整備基金	1, 326 万円
森林環境整備基金	2, 517 万円
企業版ふるさと納税基金	0 万円
上松町役場庁舎整備基金	2 億 331 万円
上松町営住宅建設改修等 基金	453 万円
上松町小水力発電施設運営 基金	782 万円



一般会計　主な事業の歳出額

議　会　費

議員報酬・手当	2, 646 万円

民　生　費

社会福祉費総務事業（R6 繰越含む）	7, 679 万円
障がい者福祉事業	3, 268 千円
障がい者自立支援事業	1 億 5, 625 万円
老人福祉総務事業	1 億 3, 149 万円
地域包括支援センター事業	2, 076 万円
B&G 子ども第三の居場所運営事業	1, 005 万円
保育園事業	2, 193 万円

総　務　費

まちづくり事業（R6 繰越含む）	1, 930 万円
地域おこし協力隊事業（R6 繰越含む）	1, 720 万円
移住・定住促進事業	932 万円
エネルギー・食料品等価格高騰対策支援事業	1, 358 万円
コミュニティ交通事業	5, 272 万円

衛　生　費

清掃総務事業	1 億　42 万円
予防事業	1, 705 万円
母子衛生事業	748 万円

農林水産業費

中山間地域農業直接支払事業	1,105 万円
林業振興事業	1,464 万円
有害鳥獣駆除事業	1,302 万円
林道一般事業（R6 繰越含む）	2,629 万円

商　工　費

商工振興事業	3,394 万円
観光振興事業（R6 繰越含む）	1 億 1,867 万円
ねざめホテル管理事業	2,437 万円
赤沢自然休養林施設整備事業	196 万円

土　木　費

道路施設修繕事業	7,760 万円
道路除雪融雪対策事業	2,607 万円
橋梁長寿命化修繕事業	7,532 万円
定住促進住宅建設事業（R6 繰越含む）	1 億 1,964 万円

消　防　費

常備消防事業	1 億 442 万円
非常備消防事業	2,153 万円
防災対策事業	2,036 万円

教　育　費

学校給食事業	5,414 万円
上松小学校管理事業	2,283 万円
上松中学校管理事業	1,574 万円
公民館事業	1,369 万円
社会体育事業	3,570 万円
総合文化センター管理事業（R6 繰越含む）	1,643 万円

災害復旧費

農業用施設災害復旧事業（R6 繰越含む）	1,166 万円
林道施設単独災害復旧事業（R6 繰越）	229 万円

公　債　費

長期借入元金償還金	5 億 1,890 万円
長期借入利子償還金	2,085 万円

特別会計の決算状況

特別会計名	歳入額	歳出額	特別会計名	歳入額	歳出額
国民健康保険	3 億 8,551 万円	3 億 6,640 万円	後期高齢者医療	8,591 万円	8,591 万円
奨学金	315 万円	315 万円			

健全化判断比率等の状況

1．健全化判断比率

比率区分	令和７年度	前年度	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	— %	— %	15.0 %	20.0 %
連結実質赤字比率	— %	— %	20.0 %	30.0 %
実質公債費比率	9.2 %	9.9 %	25.0 %	35.0 %
将来負担比率	30.8 %	37.7 %	350.0 %	

＊ 赤字額がないため、実質赤字比率と連結実質赤字比率は「－」と表示しています。

2．資金不足比率

事業会計名	令和７年度	前年度	経営健全化基準
水道事業会計	－	－	20.0%
下水道事業会計	－	－	20.0%

＊ 資金不足額がないため、資金不足比率は「－」と表示しています。

令和７年度　水道事業会計決算状況

数字で見る水道事業決算

１．収益的収入及び支出

区　分		決算額（千円）※
収入	水道事業収益	２１１，６５８
	営業収益	８８，１２４
	営業外収益	１２３，５３２
	特別利益	２
支出	水道事業費	２１０，３０５
	営業費用	１９０，６８４
	営業外費用	１９，６２１
	特別損失	０

２．資本的収入及び支出

区　分		決算額（千円）※
収入	資本的収入	８７，７０１
	工事負担金	１，４８１
	出資金	４１，９２０
	企業債	３４，３００
	補助金	１０，０００
支出	資本的支出	１２９，４４１
	建設改良費	５３，８０６
	企業債償還金	７５，６３５

※仮受消費税、仮払消費税を控除してあります

令和７年度上松町水道事業会計の決算報告がされ、議会の決算認定がなされました。

本年度決算は、営業面では営業収益及び営業外収益等が２億１，１６５万８千円、営業費用及び営業外費用等が２億１，０３０万５千円、当年度営業純利益が１３５万３千円となりました。

事業費用面では、建設改良費及び企業債償還金が１億２，９４４万１千円で、財源は企業債、国庫補助金及び一般会計からの負担金・出資金及び留保資金を充当して事業を行いました。

令和７年度の主な事業としては、老朽管布設替工事（北上条地区）、吉野配水池取水ポンプ更新工事等を実施し、その他、各施設における薬品の補充、草刈等の管理も行ってきました。

今後も、平成２８年度に策定した水道事業計画及び経営戦略に沿い、計画的な改修を行い、良質で安全・安心な飲料水の安定供給に努めるとともに、経常経費の節減と効率的な事業運営に取り組んでまいります。

３．各水道施設の概況

区　分	給水戸数（戸）	給水人口（人）
上松町簡易水道施設	１，８２０	３，７３５
	年間配水量（㎥）	年間有収水量（㎥）
	５０５，８６５	３９０，４１４

令和７年度　下水道事業会計決算状況

数字で見る下水道事業決算

１．収益的収入及び支出

区　分		決算額（千円）※
収入	下水道事業収益	１６７，２２５
	営業収益	４８，４６６
	営業外収益	１１８，７５８
	特別収益	１
支出	下水道事業費	１６６，８３６
	営業費用	１５４，８６７
	営業外費用	１１，９６９
	特別損失	０

２．資本的収入及び支出

区　分		決算額（千円）※
収入	資本的収入	７１，２７４
	工事負担金	１，２９２
	出資金	３７，５８１
	企業債	７，８００
	国庫補助金	２４，６０１
支出	資本的支出	１３９，９２２
	建設改良費	６３，９８８
	企業債償還金	７５，８９４
	基金積立金	４０

※仮受消費税、仮払消費税を控除してあります

令和７年度上松町下水道事業会計の決算報告がされ、議会の決算認定がなされました。

本年度決算は、営業面では営業収益及び営業外収益等が１億６，７２２万５千円、営業費用及び営業外費用等が１億６，６８３万６千円、当年度営業純利益が３８万９千円となりました。

事業費用面では、建設改良費及び企業債償還金等が１億３，９９２万２千円で、財源は企業債、国庫補助金、受益者負担金、一般会計からの出資金及び留保資金を充当して事業を行いました。

令和７年度の主な事業としては、下水道管渠工事（寝覚地区）、上松町公共下水道事業ストックマネジメント計画見直し業務、上松町公共下水道事業計画策定業務、浄化センター返送汚泥ポンプ分解調査・更新工事、その他、マンホールポンプ更新工事や浄化センターの軽微な修繕などを実施し、施設の維持管理も行ってきました。

今後も資産の適正な維持管理に努め、施設の長寿命を図るとともに快適な生活環境保持のため、経常経費の節減と、効果的な事業運営に取組んでまいります。

３．下水道施設の概況

区　分	水洗化戸数（戸）	水洗化人口（人）
上松処理区	１，０１７	２，２３９
	年間処理水量（㎥）	年間有収水量（㎥）
	２３７，１８１	２３６，１８１



「上松町」住み込みインターンシップが実施されました

本年度の住み込みインターンシップが９月１日～１１日までの１１日間、実施されました。

昨年までは長野県の主催事業でしたが、本年度は町単独の事業として開催され、上松町の企業や事業所での体験（研修）を通して上松町の魅力を知っていただき、卒業後の就職の選択肢として、また将来的に移住していただくことを期待し実施したもので、「（株）あい愛　あい愛ケアセンター」、「上松観光開発（有）ねざめホテル」「上松町観光協会」「上松町地域振興課（地域おこし協力隊）」に受入れのご協力をいただき、長野県名古屋事務所を通じて中京圏の全大学に対して募集を行ったところ、日本福祉大学、愛知東邦大学からそれぞれ３名､計６名の学生が参加し行われました。

滞在期間中は、田政旅館に学生全員が宿泊し、各研修先における業務体験はもちろん、当町の観光名所や自然・文化に触れまた、諏訪神社例祭にも参加していただき、全課程を終えた学生たちからは、「地域の人や旅館の女将さん、職場の方がとても親切で良い職場体験ができた」「食べるものがとても美味しい」等のコメントをいただきましたが、交通アクセスの悪さや案内・情報不足などの地域課題についての指摘も受けました。

参加された学生の皆さんは、今回のインターンシップで学んだことを残りの学生生活に活かし、ご活躍されることを期待しております。


【報告会の様子】

参加された皆さんのコメント



○日本福祉大学　３年　榊原（さかきばら）　知希（ともき）

この度は、本インターンシップへ参加させていただきありがとうございました。

あい愛ケアセンターでの研修を通して、高齢者施設の印象を大きく変えることができました。

これまでの印象として、高齢者施設は利用者様と従業員との間で暗い雰囲気が漂っていて、過ごし辛さがある等の偏見を持っていましたが、実際はその様な事はなく利用者様の笑顔が多く見られる事があり、従業員同士も明るく情報交換をしたり、利用者様との会話を楽しんでいてとても良い雰囲気だと感じました。また、研修生である自分達にも優しく丁寧に業務について指導してくださったり、会話の輪の中にも入れてくださり１人の従業員のように接してくださった事はとても嬉しい気持ちになりました。

今回のインターンシップで様々な面で支えてくださった役場の方々、旅館の女将さんにはとても感謝しています。雨の中での送迎や休日の観光にまでも送迎をして頂き本当にありがとうございました。今回のインターンシップへの参加を通して、上松町の自然や文化の魅力や人々の温かさを感じることができ、今後の就職活動や日々の過ごし方にプラスな影響があったと感じています。この度は本当にありがとうございました。

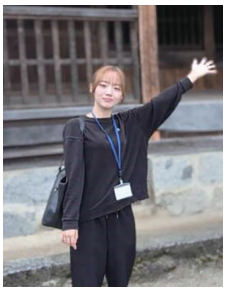


○日本福祉大学　３年　前田（まえだ）　晃（ひかる）

今回のインターンシップでは、就業体験やあい愛ケアセンターでの老人保健施設での体験など、普段の大学生活ではなかなか経験できないことを多く経験させていただきました。特にあい愛ケアセンターでの就業体験では、高齢者の方とのコミュニケーションの難しさを感じました。慣れない仕事や覚えることが多い中でも、職員の方々が一つひとつメモを取りながら仕事を覚え、ひたむきに取り組んでいる姿が印象に残っています。また、一人ひとり性格や状況が異なるため、同じ対応をするのではなく、その人に合わせて接し方を考えながらサービスを提供することの難しさと、それを実践していることのすごさを学びました。

インターンシップ全体を通して、上松町には人とのつながりを大切にする温かさ、人情深さがあると感じました。その中で、地域の方々と関わる上でのコミュニケーションの大切さや、相手を思いやることの大切さについても改めて考える機会になりました。また、人口が少なく高齢者の割合が高い地域では、地域の課題を解決していくこと自体が簡単ではないという現状も実際に感じることができました。一方で、そのような状況の中でも地域のために一生懸命取り組んでいる方々がいることを知り、地域を支えることについて深く考えるきっかけにもなりました。１１日間を通して、本当に多くのことを学び、非常に濃い経験をさせていただいたと感じています。今回のインターンシップを通して、上松町や木曽地域の魅力についても知ることができ、自然豊かな景観の素晴らしさも実際に体感することができました。今回の経験をきっかけに、今度は観光などでも上松町や木曽地域を訪れてみたいと思いました。

貴重な機会をいただき、本当にありがとうございました。１１日間大変お世話になりました。



○愛知東邦大学　２年　宮城（みやぎ）　真優（まゆ）

１１日間大変お世話になりました。ありがとうございました。

今回初めて木曽に訪れて、自然豊かで人情溢れる上松町と地域の方々に出会えて非常に素敵な経験をさせていただきました。今回地域おこし協力隊での研修で、秋祭りに訪れる県外の方は勿論、地元の方にも楽しく上松町の魅力に触れてもらえるよう謎解きを考えさせていただきました。私自身、実際に上松の街並みを歩きながら八幡宮や玉林院の歴史だけでなく、上松町の魅力をより詳しく知りたいと感じました。この感情を多くの人にも感じてもらえるよう、八幡宮の説明書きの看板を使った謎解きの問題を考えたり、菓子処「和心」さんに関連する問題を作成し、イベントに参加した方が休憩に「和心」さんを利用するようになれば経済活性化にもつなげることができるのではという思いも込めて今回謎解きを作らせていただきました。また、「べんがら染め」や「草木染め」を体験し、身近にあるものでこんなにも素敵なものを作ることができるのかと感銘を受けました。今の時代便利なもので溢れており、幼い頃からデジタル機器が身近にある現代人にこそ、足元にある草木や自然に目を向けて欲しいと思いました。今踏んでいる地面の土や草木で綺麗な染料ができ、一つ一つ丁寧に手作業で作るものにこそ意味があるのではないでしょうか？

忙しない現代社会にこそこういった温かみあるものに触れて、自分の足元に目を向けて過ごす時間を大切にしていきたいと思いました。

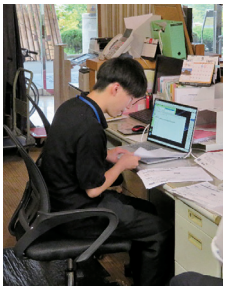


○日本福祉大学　３年　守田（もりた）　陽（ひなた）

先日はインターンシップに参加させていただき、誠にありがとうございました。

今回のインターンシップでは、上松町の観光や地域の魅力について実際に現地を見て回り、観光協会で働かれている方々のお話を伺いながら、地域活性化について考える貴重な経験をさせていただきました。これまでは観光地を訪れる側として考えることが多かったのですが、今回の経験を通して、観光客に来てもらうだけでなく、地域でどのように消費してもらい、地域の方々や事業者の方にどのような効果を生み出していくのかという視点を持つことができました。また、長期間にわたって上松町で生活しながら活動したことで、観光だけではなく、地域で暮らす方々の温かさや、地域を支えている方々の思いにも触れることができました。今回のインターンシップで学んだことや感じたことを、今後の大学での学びや就職活動にも活かしていきたいと思います。

お忙しい中、貴重な機会を設けていただき、またインターンシップ期間中も多くのご支援をいただき、心より感謝申し上げます。



○愛知東邦大学　２年　桒原（くわばら）　嵩斗（しゅうと）

私は、このインターンシップを通して上松町の魅力だけでなく、地域の人々の温かさや木の持つ可能性を深く感じることができました。２週間のインターンシップでは、ねざめホテル様でのさまざまな業務を経験し、地域の方々と関わる中で、上松町が大切にしている自然や伝統文化を身近に感じることができました。その中で、将来私がやりたいカフェ経営につながる新たな「ピース」を見つけることができたと感じています。また、自然や伝統文化を守り続けていくには、今あるものを維持するだけでなく、次の世代へ受け継いでいくことが重要だと深く学びました。今回の経験を一度きりの思い出で終わらせるのではなく、将来はキッチンカーなどを通して上松町を訪れ、地域の方々と関わりながら食やコーヒーを通じて人が集まる場所をつくるなど、さまざまな形で上松町に関わっていきたいと思います。

２週間、本当にありがとうございました。今後は将来の目標を実現させ、再び上松町に訪れて皆さんを笑顔にできるように大学生活でも頑張りたいと思います。



○愛知東邦大学　２年　深作（ふかさく）　悠生（ゆう）

２週間上松町に過ごすにあたって旅館のおかみさんやインターン担当者の方々のサポートが手厚く困ることなく過ごせました。業務内容の秋祭りに使用する町内の建造物を元にしたクイズ制作では、実際に町の風景を見て回ることでの新しい発見をクイズとして制作しました。また、上松町の特産品である木曽ひのきを使用した木工ギミックのパーツを制作して、町おこしとは、もっと知ってもらうこと、その地域にしかない資源を有効活用すること活かすことだと私は感じました。体験型企画を制作するうえでのノウハウを身につけることができました。また、２日間お祭りに参加させていただいたのですが、松明をもって神社を回る体験はここでしかできない体験だと感じました。インターンの担当者さんが言っていたのですが、「ここの地域の人たちはお祭りに熱心」というのを感じました。

熱量がとても高く楽しい体験をさせていただきました。お祭りとインターンの日程が重なってたのがとても今振り返って良かったと感じられました。

環境美化活動で島区表彰

八月三十一日（月）に長野市で行われた長野県道路整備期成同盟会の令和八年度道路事業功労者表彰式において、島区が長年にわたる県道の環境美化活動の功績により表彰されました。

島区は、平成二十五年三月に信州ふるさとの道ふれあい事業（アダプトシステム）協定を長野県及び上松町と締結し、島区内の県道沿線において植栽、植樹した樹木の維持管理、県道周辺の草刈り及びゴミ拾い等の美化活動に取り組み、地域の環境整備及び県道美化に貢献する活動を実施しています。



※写真中央
島区代表の加藤氏

ユーモアのある温かい校長先生
水野（みずの） 義朗（よしろう）さん 瑞宝双光章（ずいほうそうこうしょう）受章

元上松町立上松小学校長の水野　義朗さんが、地方教育行政功労者として令和八年度叙勲　瑞宝双光章を受章され、九月十七日（木）に叙勲伝達のため来庁されました。

水野　義朗さんは、昭和三十七年四月に長野県西筑摩郡新開村立上田小学校に赴任されて以来三十七年間の長きにわたり、県内各地の小学校で教鞭を執られました。

体育学習の熱心な指導実績から、昭和五十七年度からの三年間は、大桑村教育委員会で県派遣の社会教育主事として広く力を発揮され、木曽郡はもとより県下の教育行政にも多大な功績を残されました。

平成八年四月からの三年間は、地元である上松町立上松小学校の学校長を務められました。

登校してすぐに校舎を一巡し、児童に温かい励ましの言葉をかけ、一生懸命取り組むことの大切や、自分で考えてできるようになる楽しさを、自らの行動と言葉を通して子どもたちに教えてくださり、「ユーモアのある温かい校長先生」として児童、学校職員から信頼される存在でした。

退職後は、上松保育園長、上松町公民館長、文化財保護審議委員を務められ、町の子どもたちの育成や、社会教育の発展にご尽力されました。この度は、瑞宝双光章の受章、誠におめでとうございます。





交通死亡事故ゼロへ 秋の全国交通安全運動

九月二十一日（月）から三十日（水）までの十日間、秋の全国交通安全運動が行われました。

期間中は交通安全協会や小中学校ＰＴＡなどの皆さんによる、通学路街頭指導も行われました。

県下一斉街頭啓発日である二十五日（金）には、上松町交通安全推進協議会の役員が上松駅前で、駅利用者に啓発品の配布と、交通安全の呼び掛けを行いました。

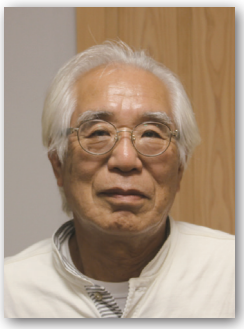
また、上松町交通安全協会では、チャイルドシート・シートベルト着用調査や、国道・町道沿いにのぼり旗を持って立ち、ドライバーへ交通安全の啓発を行う人波作戦を行いました。

行楽シーズンとなり交通量が多くなります。また、日暮れも早まる時期となってきました。早めのライト点灯や反射材を身に着けるなど、今後も交通事故防止にご協力ください。





代表監査委員を任命



監査委員の退任に伴い、九月十八日付けで、代表監査委員に佐藤　建一さんが任命されました。任期は、令和十二年九月十七日までの四年間となります。

佐藤さんにおかれましては、官民両事業でご活躍された経歴を持ち、財務・税務関係に精通され、町行政を内外から客観的に見ていただき、今後の町行政の発展にご尽力いただきたく、お願い申し上げます。

これからも引き続き町行政へのご理解ご協力をお願い申し上げます。

上松町選挙管理委員会委員が異動

上松町選挙管理委員会委員に一名欠員が生じたため、地方自治法第一八二条の規定により、補充員の小松　健志さん（常盤町）が補欠されました。小松さんの任期は、令和八年九月二日から令和九年十二月二十日までとなっております。



職員人事異動

令和八年十月一日付の異動者の紹介をします。

令和八年十月一日付　異動

新職（旧職）	氏名
企画財政課税務係（総務課総務係）	寺坂　瑞希
教育委員会子育て支援係（企画財政課税務係）	芝波田　衿花

初　　日	十両五枚目	佐田の海	●	押し出し
２ 日 目	十両五枚目	嵐 富 士	●	押し出し
３ 日 目	十両六枚目	北 の 若	●	押し出し
４ 日 目	十両六枚目	白　　熊	○	引き落とし
５ 日 目	十両二枚目	大 青 山	●	寄り切り
６ 日 目	十両四枚目	風 賢 央	○	押し出し
７ 日 目	十 両 筆 頭	旭 海 雄	○	上手投げ
中　　日	前頭十六枚目	寿之富士	●	寄り倒し
９ 日 目	十両二枚目	一　　意	●	寄り切り
１０日目	十両三枚目	阿 武 剋	●	寄り切り
１１日目	十両三枚目	玉　　鷲	●	押し出し
１２日目	十両七枚目	友　　風	○	引き落とし
１３日目	十両十二枚目	嘉　　陽	○	突き落とし
１４日目	十両七枚目	翠 富 士	●	寄り切り
千 秋 楽	十両八枚目	羽 出 山	●	上手投げ

大相撲 令和８年９月場所 御嶽海関の成績

西十両４枚目　５勝１０敗

令和８年９月１３日から２７日まで、大相撲令和８年９月場所が東京都両国国技館で開催されました。令和７年５月場所以来の十両陥落をした御嶽海関。初日から３連敗と黒星が続きましたが、４日目に今場所初白星を挙げました。その勢いに乗りたかった御嶽海でしたが、中日から４連敗で、自身十両で初となる負け越しが確定しました。１２日目、１３日目に白星を挙げ意地を見せましたが、悔しい場所となりました。この悔しさをバネにして、来場所では更なる活躍を見せてくれることを期待します。

頑張れ！御嶽海関！！

地域おこし協力隊だより

【中村　香月　隊員】

こんにちは！地域おこし協力隊の中村です。

唐突ですが、「知ることで、身の回りのものが宝物に変わる！」と感動・わくわくした瞬間について、お話ししたいと思います。

３月号で告知した通り、８月に外部講師を招き、エコプリントワークショップを行いました。エコプリントは、下処理した布に葉や花を並べ、蒸して染める技法です。植物によっては、押し花にすることで色素が濃縮され、より濃く色が出るものもあります。そのため、現在は日々植物採集にも励んでいます。

９月初め、赤沢休養林方面へ車を走らせていると、山際に薄橙色の花を発見。調べてみると、フシグロセンノウ（節黒仙翁）という、多くの都道府県でレッドリストに登録されている植物でした。

「これは採っちゃいかんなぁ」と思いつつ、そんな植物が当たり前のように見られる上松町に、すごいなぁと感じました。

さらに、その横には、なんとニホンアカネ（日本茜）が！古くから「茜色」の染料として使われてきた、アカネ科のつる性植物です。

染料になるのは根の部分。草木染めに使えるほど色素が蓄積し、収穫できる太さになるまでには３年以上かかるそう。根は細く千切れやすく、自生しているものを見つけるのも難しいため、「幻の染料」とも呼ばれています。

そんな日本茜から生まれる「茜色」。乾いているときは柔らかく温かみのある赤色ですが、私がうっとりするほど美しいと感じたのは濡れたときの色。ぐっと深みが増して、艶のある赤色になるんです。

「うっとりする」なんて、今日あまり使わないかもしれませんが、でも、ずっと眺めていたくなる。そんな色なんです。

モノの本来の姿を知ることで、何気なく見ていたものが特別なものに変わっていく。それは暮らしを少しずつ豊かにしてくれるのだと思いました。

皆さんの「えー！そうなんだ！」と感動・わくわくした瞬間は、最近ありましたか？

ケーブルテレビのアンケートについて

木曽広域ケーブルテレビでは、利便性向上を目指して、**アンケート調査を実施**しています。
ご協力いただいた方の中から**抽選で粗品を進呈！**
皆様のご意見をお聞かせください。

【回答方法】
WEBで回答：QRコードをスマートフォン等で読み取ってアクセスしてください。
紙で回答　：各役場窓口に専用の用紙を設置していますので、ぜひご利用ください。

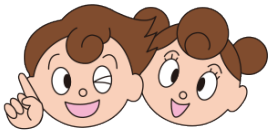
【実施期間】（抽選対象期間）
令和8年12月25日（金）まで

＜木曽広域情報センター　0264-21-2212＞

人も、会社も、もっと元気に！

中小企業退職金共済制度
CHU TAI KYO

- 掛金の一部を国が助成
- 掛金は全額非課税。手数料も不要
- 外部積立型なので管理が簡単
- パートタイマーの加入もOK



詳しくはホームページへ
中退共　検索

（独）勤労者退職金共済機構 中小企業退職金共済事業本部
TEL.03-6907-1234

森の国から　4号

〝五省〟

上松町長　**村田広司**

個人的に永平寺が好きで、何度かお参りさせていただいています。

永平寺は道元禅師により開山された曹洞宗の大本山であり、修行道場らしい凛とした空気の中での修行僧のきびきびした動きと塵一つない境内は、何度行っても心が洗われるような気がします。

その永平寺の堂内に、ある時「五省」を書いた紙が貼られているのに気がつきました。

「五省」というのは、昭和７年、当時の海軍兵学校長の松下元（はじめ）少将が創始したもので、兵学校の生徒に対して、日々の行為を自ら反省し翌日の修養に備えることを求めたものです。

それが、

一．至誠に悖（もと）るなかりしか　（誠実さや真心、人の道に背くところはなかったか）

二．言行に恥ずるなかりしか　（発言や行動に、過ちや反省するところはなかったか）

三．気力に欠くるなかりしか　（物事を成し遂げようとする精神力は、充分であったか）

四．努力に憾（うら）みなかりしか　（目的を達成するために、惜しみなく努力したか）

五．不精に亘（わた）るなかりしか　（怠けたり、面倒くさがったりしたことはなかったか）

の「五省」です。

何かあればAIが全て応えてくれるような時代の中では古臭い考えと一蹴されそうですが、背景にある「自己との対話」の精神は、その成立の過程の是非は置いといて、どんな時代にあってもとても大切な事なんじゃないかと思います。

じゃあ自分はどうなんだ・・と言われれば、日頃怠惰な生活を送っている我と我が身には、情けないけれど自信を持って「はい!!」と言える項目はただの一つもありません。

特に「不精」の部分はとても耳が痛いです。

でも、「何も考えずに日々を過ごしていく事と、頭の片隅にこの言葉をおいて日々を過ごしていくのでは大きな違いがある」と自分を慰める中で、生きているうちに一つでもいいから自信を持って「はい」と言えるものが出来れば良いな・・なんてことを思うこの頃です。

「ようこそ町長室」開催のお知らせ

毎月１回程度、町民の皆様に町長室に来ていただいて、気軽に話す機会を設けています。

要望や世間話など何でも結構ですので、ご予約の上、お気軽に顔を出してみませんか。

第３回目は１１月２０日（金）です。

詳しくは、上松町役場総務課までお問い合わせください。

TEL ０２６４－５２－４８０１

健康増進センターリレートーク　・・・122


美林ちゃん（美）

全国地域安全運動


太郎ちゃん（太）

太：最近、暗くなるのが早くなったね。
美：そうね、夏と比べると暗くなるのが早いよね。そうそう、太郎ちゃん「全国地域安全運動」って知ってる？
太：何だろう・・。
美：秋も深まると日が暮れるのも早くなり、いろいろな犯罪が多くなる月なの。だから、みんなで安心して暮らせるように啓発活動を行ったりしているんだ。
太：僕にも何かできるかな？
美：地域で安心して暮らしていくために、近所の人と会ったら挨拶をしたり、散歩などで出かけた際に普段と変わったことがないか、防犯の視点を持って見守りをするなど、ちょっとしたコミュニケーションや活動でも地域を見守る機会が増えることによって、不審者を寄せ付けにくくする効果があるんだって。
太：あっ、それなら僕にもできそう！！
美：小さなことでもみんなで取り組めば大きな力になるね。

〈全国地域安全運動〉

防犯協会をはじめとする地域安全に関わる関係機関・団体・警察が地域安全活動を更に強化するために 10 月 11 日～ 20 日までの 10 日間に「全国地域安全運動」を実施します。

期間中に自主的な防犯対策への取組や地域で行われる防犯活動への呼びかけを全国的に実施しています。

個人でも日頃から挨拶や声がけを行なったり、犬の散歩やウォーキングなどで周囲の見守りを行うなど生活の中で地域に目を向けることが大切になってきます。

また、ポストに郵便物をためないようにしたり、短時間でも車内に貴重品やバッグを置いたままにしないようにすることも対策の方法です。

みんなで地域の防犯力を高めましょう！！

上松町役場　福祉係（５２－５５５０）

”Catalog Pocket” でも配信しています



戸籍の窓

九月（敬称略）

ごめいふくをお祈りします

横山　富久江　100歳　寝覚1
巾　勝幸　70歳　東里1
澤口　文男　92歳　上町
上田　れつ子　98歳　荻原
余間　皎　85歳　南栄町
古瀬　誠　92歳　東里1

※情報掲載に同意を頂いた方のみ掲載しています。